

白石太一郎先生著作目録

I 著書

1. 『古墳の知識－墳丘と内部構造－』東京美術 1985年
2. 『古墳の造られた時代』毎日新聞社 1989年
3. 『古墳の語る古代史』〔財〕歴史民俗博物館振興会 1998年
4. 『古墳とヤマト政権』文春新書 文芸春秋 1999年
5. 『古墳と古墳群の研究』塙書房 2000年
6. 『古墳の語る古代史』岩波現代文庫 岩波書店 2000年（3を増補・再編集）
7. 『古墳とその時代』日本史リブレット 山川出版社 2001年
8. 『考古学と古代史の間』筑摩書房 2004年
9. 『近畿の古墳と古代史』学生社 2007年
10. 『東国の古墳と古代史』学生社 2007年
11. 『考古学からみた倭国』青木書店 2009年（近刊）
12. 『古墳と古墳時代の文化』塙書房 2009年（近刊）

II 編著

1. 『考古学への招待』朝日百科日本の歴史別冊 朝日新聞社 1988年
2. 『古代を考える・古墳』吉川弘文館 1989年
3. 『古墳時代の工芸』古代史復元7 講談社 1990年
4. 『装飾古墳の世界』企画展「装飾古墳の世界」図録 朝日新聞社 1993年
5. 『歴史考古学』〔財〕放送大学教育振興会 1995年
6. 『古墳はなぜつくられたか』朝日百科日本の歴史別冊 朝日新聞社 1995年
7. 『古墳時代の考古学』シンポジウム日本の考古学4 学生社 1998年
8. 『発掘された古代日本』〔財〕放送大学教育振興会 1999年
9. 『倭国誕生』日本の時代史1 吉川弘文館 2002年
10. 『倭国誕生と大王の時代』朝日百科日本の歴史 原始・古代8 朝日新聞社 2003年
11. 『考古学と歴史』〔財〕放送大学教育振興会 2004年
12. 『古代を考える・終末期古墳と古代国家』吉川弘文館 2005年

III 共編著

1. 『争点 日本の歴史』2 古代編I（吉村武彦と共編）新人物往来社 1990年
2. 『古墳時代の研究』全13巻（岩崎卓也・石野博信・河上邦彦と共編）雄山閣出版 1990～92年
3. 『見る・読む・わかる 日本の歴史』1（東野治之と共編）朝日新聞社 1992年
4. 『新視点 日本の歴史』2 古代編I（吉村武彦と共編）新人物往来社 1993年
5. 『原始美術』原色日本の美術1（小林達雄と共編）小学館 1994年
6. 『考古学による日本歴史』全18巻（大塚初重・町田章・西谷正と共編）雄山閣出版 1996年～
7. 『日本考古学事典』（田中琢・佐原真・加藤晋平・小林達雄と共編）三省堂 2002年

8. 『日本の考古学』上・下（稲田孝司・岡村道雄・春成秀爾・町田章と共編）2005年
9. 『列島の古代史』全8巻（上原真人・吉川真司・吉村武彦と共編）2005～2006年

IV 監修

1. 学習漫画『日本の遺跡なんでも事典』集英社 1990年
2. 『古墳への旅』朝日新聞社 1996年
3. 『東アジアと江田船山古墳』玉名歴史研究会編 雄山閣 2002年

V 共著

1. 『奈良県の主要古墳』1（河上邦彦・前園実知雄と共著）奈良県教育委員会 1971年
2. 『奈良県の主要古墳』2（河上邦彦・前園実知雄と共著）奈良県教育委員会 1974年
3. 『年表 日本歴史』1（黛弘道・岡田茂弘と共著）筑摩書房 1980年
4. 『空白の四世紀とヤマト王権』（西嶋定生・平野邦雄・山尾幸久・甘粕健・田辺昭三・門脇禎二と共著）角川選書 1987年
5. 『古墳発生前後の古代日本』（石野博信・都出比呂志・近藤喬一・飯島武次と共著）大和書房 1987年
6. 『埴輪の時代』（大塚初重・森浩一・梅沢重昭・金井塚良一・井上唯雄らと共著）上毛新聞社1987年
7. 『再検討 河内王朝論』（門脇禎二・水野正好・岡田精司・笠井敏光と共著）六興出版 1988年
8. 『シンポジウム青銅器の生産・終末期古墳の諸問題』日本考古学協会編 学生社 1989年
9. 『古代東国と東アジア』（上田正昭・大塚初重・王克林・全榮來・西谷正・菅原文則・河田貞と共著）河出書房新社 1990年
10. 『邪馬台国時代の東日本』（佐原真・春成秀爾・山尾幸久らと共著）六興出版 1991年
11. 『藤ノ木古墳』日本の古代遺跡を掘る5（前園実知雄と共著）読売新聞社 1995年
12. 『装飾古墳が語るもの』（西嶋定生・佐原真・辻惟雄・青柳正規・東潮・石山勲・和田萃らと共著）吉川弘文館 1995年
13. 『継体王朝の謎』（都出比呂志・和田萃・和田晴吾・杉本宏・荒川史と共著）河出書房新社 1995年
14. 『詳説日本史』（石井進・笠原一男・児玉幸多・笹山晴生らと共著）山川出版社 1997年
15. 『河内飛鳥と終末期古墳』（吉田晶・堀田啓一・広瀬和雄・山本彰・林部均・伊藤聖浩と共著）吉川弘文館 1998年
16. 『東アジアから見た古代の東国』（上田正昭・王仲殊・姜仁求・千田稔と共著）上毛新聞社 1999年
17. 『稲荷山古墳の鉄剣を見直す』（上田正昭・大塚初重・金井塚良一・王仲殊・申敬澈・和田萃・梅沢重昭らと共著）学生社 2001年
18. 『弥生のムラから古墳のクニへ』（佐原真・石川日出志・車崎正彦・水野敏典・古屋紀之・佐々木憲一らと共著）学生社 2002年
19. 『千葉県の歴史』資料編 考古2〔弥生・古墳時代〕（白井久美子・萩原恭一・渡辺修一らと共著）千葉県 2003年
20. 『千葉県の歴史』資料編 考古4〔遺跡・遺構・遺物〕（岡本東三・鈴木道之助・須田勉・堀越正行らと共著）千葉県 2004年
21. 『シナノの王墓の考古学』（川崎保・大塚初重・小林秀夫・市川健夫・岩崎卓也・田中裕・森浩一と共著）雄山閣 2006年

22. 『千葉県の歴史』通史編 原始・古代1 (岡本東三・田村隆・堀越正行・渡邊修一・白井久美子・萩原恭一らと共著) 千葉県 2007年
23. 『広辞苑』第6版(考古学関係項目の検討と執筆) 岩波書店 2008年
24. 『日本史』世界各国史1 (宮地正人・加藤友康・村井章介・高埜利彦と共著) 山川出版社 2008年
25. 『埴輪群像の考古学』(森田克行・車崎正彦・高橋克壽・和田萃・小浜成・宮崎康雄・藤井幸司・有馬義人・若狭徹と共著) 青木書店 2008年
26. 『東アジアの巨大古墳』(王仲殊・劉慶柱・王歎上田正昭・水野正好・王巍・崔秉鉉・林永珍・西谷正と共著) 大和書房 2008年
27. 『重要文化財東大寺山古墳出土金象嵌銘花形飾環頭大刀』(金関恕・三輪嘉六・望月幹夫・古谷毅・東野治之らと共著) 東京国立博物館 2008年
28. 『継体天皇の時代-徹底討論 今城塚古墳-』(水野正好・和田萃・和田晴吾・田中俊明・森田克行・宮崎康雄と共著) 吉川弘文館 2008年

VI 調査報告書等

1. 『若狭大飯』(石部正志らと共著) 同志社大学文学部考古学調査報告 第1冊 1966年
2. 『紀淡・鳴門海峡地帯における考古学調査報告』(森浩一らと共著) 同志社大学文学部考古学調査報告 第2冊 1968年
3. 『奈良県遺跡地図』第2分冊(前園実知雄らと共著) 奈良県教育委員会 1971年
4. 『若狭・近江・讃岐・阿波における古代生産遺跡の調査』(森浩一らと共著) 同志社大学文学部考古学調査報告 第4冊 1971年
5. 『新庄町地光寺発掘調査概報』奈良県教育委員会 1972年
6. 『馬見丘陵における古墳の調査』(前園実知雄と共著) 奈良県史跡名勝天然記念物調査報告 第29冊 1974年
7. 『三郷町平陸寺発掘調査概報』(亀田博と共著) 奈良県教育委員会 1974年
8. 『葛城石光山古墳群』(河上邦彦・亀田博・千賀久らと共著) 奈良県史跡名勝天然記念物調査報告 第31冊 1976年
9. 『三郷町平陸寺』(亀田博と共著) 奈良県史跡名勝天然記念物調査報告 第47冊 1984年
10. 『祭祀関係遺物出土地名表』(白石太一郎編) 国立歴史民俗博物館研究報告 第7集 附編 1985年
11. 『「王賜」銘鉄剣概報』(田中新史・平川南・永島正春らと共著) 吉川弘文館 1988年
12. 『関東地方における終末期古墳の研究』(白石太一郎編) 平成元年度科学研究費補助金研究成果報告書 1990年
13. 『加耶および日本の古墳出土遺物の比較研究』(白石太一郎編) 平成4・5年度科学研究費補助金研究成果報告書 1994年
14. 『弥生・古墳時代遺跡出土鏡データ集成』(設楽博己と共編) 国立歴史民俗博物館研究報告 第56集 1996年
15. 『千葉県駄ノ塚古墳発掘調査報告』(杉山晋作・設楽博己らと共著) 国立歴史民俗博物館研究報告 第65集 1996年
16. 『近畿地方における中・近世墓地の基礎的研究』(研究代表者 白石太一郎、千田嘉博・村木二郎らと共著) 平成9～12年度科学研究費補助金研究成果報告書 国立歴史民俗博物館 2001年
17. 『弥生・古墳時代遺跡出土鏡データ集成』補遺I(設楽博己と共編) 国立歴史民俗博物館研究報告 第97集 2002年
18. 『印旛郡栄町浅間山古墳発掘調査報告書』(白井久美子・萩原恭一らと共著) 千葉県 2002年
19. 『大和における中・近世墓地の調査』(千田嘉博・村木二郎らと共著) 国立歴史民俗博物館研究報告 第111集 2004年

20. 『大和の郷墓の考古学的研究』（研究代表者 白石太一郎、千田嘉博・今尾文昭・関口慶久・村木二郎と共著）平成14～15年度科学研究費補助金〔基盤研究（B）〕研究成果報告書 国立歴史民俗博物館 2004年
21. 『敏満寺遺跡遺石仏谷墓跡』（音田直記・本田洋・松澤修・鋤柄俊夫・千田嘉博らと共著）多賀町教育委員会 2005年
22. 『近畿地方における大型古墳群の基礎的研究』（研究代表者 白石太一郎）平成17年度～19年度科学研究費補助金〔基盤研究（A）〕研究成果報告書 奈良大学 2008年

VII 論文等

1. 「日本における横穴式石室の系譜」『先史学研究』第5号 同志社大学先史学会 1965年
2. 「畿内の後期大型群集墳に関する一考察－河内高安千塚及び平尾山千塚を中心として－」『古代学研究』第42・43合併号 1966年（のちI－5所収）
3. 「岩屋山式の横穴式石室について」『ヒストリア』第49号 1967年（のちI－12所収）
4. 「近畿周辺地域における奈良時代の製塩遺跡について」『古代文化』第20巻第10号 1968年
5. 「いわゆる瓦器に関する二・三の問題－古代末～中世初頭における土器生産と流通に関する一考察－」『古代学研究』第54号 1969年
6. 「南近畿における前・中期弥生式土器の一様相－和歌山市太田・黒田遺跡の調査から－」（森浩一と共著）『考古学ジャーナル』第33号 1969年
7. 「畿内における大型古墳群の消長」『考古学研究』第16巻第1号 1969年
8. 「記・紀および延喜式にみられる陵墓の記載について－古墳の年代基準としての陵墓関係伝承の再検討－」『古代学』第16巻第1号 1969年（のちI－5所収）
9. 「古代における塩生産」『新版考古学講座』第9巻 雄山閣 1971年
10. 「大型古墳と群集墳」『橿原考古学研究所紀要』第2冊 1973年 奈良県立橿原考古学研究所（のちI－5所収）
11. 「明日香養護学校校庭出土の木簡」（前園実知雄と共著）『青陵』22 奈良県立橿原考古学研究所 1973年
12. 「榛原町萩原谷畑中世墓地の調査」（田坂正昭と共著）『青陵』24 奈良県立橿原考古学研究所 1973年
13. 「山陵志の功罪」『歴史と旅』1975年1月号 秋田書店 1975年
14. 「考古学より見た日本の墓地」森浩一編『日本古代文化の探求・墓地』社会思想社 1975年
15. 「瓦器の生産に関する二・三の覚え書」『古代文化』第27巻第1号 1975年
16. 「ことどわたし考－横穴式石室の埋葬儀礼をめぐる－」『橿原考古学研究所論集』1975年（のちI－12所収）
17. 「大和の後期群集墳」『歴史手帳』第4巻第1号 1976年
18. 「大和の古墳」『ゼミナール 日本古代史』光文社 1976年
19. 「古墳祭祀と神話」『国文学 解釈と鑑賞』昭和52年10月号 1977年
20. 「越智氏居館跡出土の瓦器－瓦器の終末年代に関連して－」『古代学研究』第85号 1977年
21. 「生駒谷須恵器窯跡群とその遺物」『青陵』35 奈良県立橿原考古学研究所 1978年
22. 「日本神話と古墳文化」『講座 日本の神話』第12巻 有精堂 1978年
23. 「広陵町寺戸廃寺とその屋瓦」『青陵』37 奈良県立橿原考古学研究所 1978年
24. 「橿原市小谷古墳の測量調査」（関川尚功らと共著）『青陵』39 奈良県立橿原考古学研究所 1978年
25. 「古墳の変遷とヤマト政権」『歴史読本』1979年5月号 新人物往来社 1979年
26. 「近畿における古墳の年代」『考古学ジャーナル』第164号 1979年
27. 「群集墳の諸問題」『歴史公論』第63号 1981年

28. 「三世紀の墓と墓地」 森浩一編『三世紀の考古学』学生社 1981年
29. 「首長たちの奥津城」岡田茂弘編『古代遺跡の旅－古代史博物館－』日本の博物館1 談社 1981年
30. 「研究の到達点と保存の意義－古墳時代－」日本考古学協会編『第2次埋蔵文化財白書』学生社 1981年
31. 「畿内における古墳の終末」『国立歴史民俗博物館研究報告』第1集 1982年（のちI－5所収）
32. 「古墳築造にかかわる祭祀・儀礼」『季刊考古学』第3号 1983年
33. 「古墳の周濠」『角田文衛先生古稀記念古代学叢論』1983年（のちI－12所収）
34. 「箸墓古墳の再検討」（春成秀爾・杉山晋作らと共著）『国立歴史民俗博物館研究報告』第3集 1984年
35. 「群馬県お富士山古墳所在の長持形石棺」（杉山晋作・車崎正彦らと共著）『国立歴史民俗博物館研究報告』第3集 1984年
36. 「日本古墳文化論」歴史学研究会・日本史研究会編『講座日本歴史』1 東京大学出版会 1984年（のちI－12所収）
37. 「中世窯業の黎明」『講座 日本技術の社会史』第4巻 日本評論社 1984年
38. 「神まつりと古墳の祭祀－古墳出土の石製模造品を中心として－」『国立歴史民俗博物館研究報告』第7集 1985年（のちI－12所収）
39. 「年代決定論（二）－弥生時代以降の年代決定－」『岩波講座 日本考古学』1 岩波書店 1985年（のちI－5所収）
40. 「手白香皇女陵の問題」『古墳の起源と天皇陵』帝塚山考古学研究所 1985年
41. 「後期古墳の成立と展開」岸俊男編『王権をめぐる戦い』日本の古代6 中央公論社 1986年（のちI－12所収）
42. 「古墳時代」小林達雄編『図説 発掘が語る日本史』2 関東・甲信越編 新人物往来社 1986年
43. 「塩・鉄の生産－塩－」坂詰秀一・森邦夫編『日本歴史考古学を学ぶ』有斐閣 1986年
44. 「巨大古墳にみる王権の推移」直木孝次郎編『王権の争奪』集英社 1986年
45. 「天皇陵を考える」（水野正好と対談）『歴史読本』1986年6月増刊号 新人物往来社 1986年
46. 「大鷲神社古墳発見の石枕とその提起する問題」『千葉史学』第10号 1987年（のちI－12所収）
47. 「河内飛鳥の終末期古墳」『講演・河内飛鳥』第3集 河内飛鳥を守る会 1987年
48. 「后妃の古墳」『歴博』第21号 国立歴史民俗博物館 1987年（のちI－6所収）
49. 「伊那谷の横穴式石室」『信濃』第40巻第7・8号 1988年（のちI－12所収）
50. 「畿内からみた観音山・観音塚古墳」『観音塚古墳の時代』高崎市教育委員会 1989年
51. 「考古学からみたヤマト王権と東国」『千葉史学』第15号 千葉史学会 1989年
52. 「玉纏太刀の原像」『歴博』第41号 国立歴史民俗博物館 1990年（のちI－6所収）
53. 「古墳の終末と古代国家の成立」『古墳文化の終焉』栃木県立しもつけ風土記の丘資料館 1990年
54. 「東アジアにおける日本の古墳」『東アジアと日本』福岡市埋蔵文化財センター 市政百周年記念特別考古学講座講演集 1990年
55. 「常陸の後期・終末期古墳と風土記建評記事」『国立歴史民俗博物館研究報告』第3集 1991年（のちI－5所収）
56. 「藤ノ木古墳の被葬者」『月刊文化財発掘情報』1991年9月号 ジャパン通信社 1991年（のちI－6所収）
57. 「伽耶と倭国」（鈴木靖民と対談）『東アジアと古代文化』第68号 1991年
58. 「展示－展示構想の変遷・総合展示の開設と拡充－」『国立歴史民俗博物館十年史』国立歴史民俗博物館 1991年

59. 「関東の後期大型前方後円墳」『国立歴史民俗博物館研究報告』第44集 1992年（のちI-5所収）
60. 「古墳とヤマト政権」（岡田茂弘と共著）青木和夫編『日本古代史』〔財〕放送大学教育振興会 1992年
61. 「木更津市松面古墳出土の双魚佩について」『古墳時代の造形－古代金工品にみる技術と美－』千葉県立上総博物館 1992年
62. “Mitudera” Ancient Japan, Arthur M. Sackler Gallery and Agency for Cultural Affairs, 1992.
63. 「古墳と地名」『歴史と地理』第448・451号 山川出版社 1992・93年（のちI-12所収）
64. 「奈良県宇陀地方の中世墓地」『国立歴史民俗博物館研究報告』第49集 1993年
65. 「玉纏太刀考」『国立歴史民俗博物館研究報告』第50集 1993年（のちI-12所収）
66. 「古墳成立論」坪井清足・平野邦雄編『古代史総論』新版古代の日本1 角川書店 1993年（のちI-5所収）
67. 「江田船山古墳の被葬者」『九州歴史大学講座』1993-4 九州歴史大学講座事務局 1993年（のちI-6所収）
68. 「弥生・古墳文化論」『岩波講座 日本通史』第2巻 古代1 岩波書店 1993年（のちI-12所収）
69. 「前方後円墳の終末」『聖徳太子の時代』奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 1993年（のちI-6所収）
70. 「古墳時代研究史」『古墳時代の研究』1 総論・研究史 1993年
71. 「金鈴古墳が語るもの」『甕る金鈴塚』木更津市金鈴塚遺物保存館 1993年
72. 「考古学の進展と日本史教科書」『歴史と地理』第469号 山川出版社 1994年
73. 「古墳と方位」山田安彦編『方位と風土』古今書院 1994年（のちI-12所収）
74. 「埴輪の世界」横山浩一・青柳正規ほか編『日本美術全集』1 原始の造形 講談社 1995年（のちI-12所収）
75. 「根の国と海上他界」『本郷』創刊号 吉川弘文館 1995年（のちI-6所収）
76. 「それでも“騎馬民族”はやってきた」『歴博』第70号 1995年（のちI-6所収）
77. 「東国の祭祀遺跡とその遺物」『海の正倉院沖ノ島』群馬県立歴史博物館 1995年
78. 「古代の衝（ちまた）をめぐって」『国立歴史民俗博物館研究報告』第67集 1996年
79. 「前方後円墳の出現」『戦後50年古代史発掘総まくり』朝日新聞社 1996年
80. 「古墳時代の豪族居館」石井進・千田嘉博編『城の語る日本史』朝日新聞社 1996年（のちI-9所収）
81. 「古墳壁画に描かれた船」海の日制定記念特別展図録『海の讃歌』神戸海洋博物館 1996年
82. 「稲荷山鉄剣と江田船山大刀」『考古学を学ぶ』神奈川考古学同好会 1996年
83. 「東国における古墳の終末」『東アジアにおける古代国家成立期の諸問題』国際シンポジウム・イン・矢吹実行委員会 1996年
84. 「前方後円墳の起源」『九州歴史』1996年4月号 九州歴史大学講座事務局 1996年（のちI-6所収）
85. 「有銘刀剣の考古学的検討」『歴博大学院セミナー・新しい史科学を求めて』吉川弘文館 1997年（のちI-12所収）
86. 「藤ノ木古墳出土農工具の提起する問題」『国立歴史民俗博物館研究報告』第70集 1997年（のちI-12所収）
87. 「日本の古墳壁画と高句麗古墳壁画」『高句麗古墳壁画』第3回高句麗国際学術大会発表論集 韓国高句麗研究会 1997年
88. 「大和国分寺」『新修国分寺の研究』第7巻 吉川弘文館 1997年
89. 「東アジアの中の日本の装飾古墳」『比較文化』第45巻2号 東京女子大学比較文化研究所 1998年
90. 「考古学からみた邪馬台国」『This is 読売』1998-2 読売新聞社 1998年（のちI-6所収）
91. 「キトラ古墳と高松塚古墳」『歴史読本』1998年9月号 新人物往来社 1998年（のちI-5・I-6所収）
92. 「三角縁神獣鏡は卑弥呼の鏡か」『現代』1998年7月号 講談社 1998年

93. 「東日本における政治的世界の形成」『東アジアからみた古代の東国』アジア史学会 1998年（のちI-6所収）
94. 「古墳から単人を考える」『宮崎考古』第16号 宮崎考古学会 1998年（のちI-6所収）
95. 「三角縁神獣鏡が魏の鏡でなくとも邪馬台国は大和である」『日本の論点'99』文芸春秋 1998年
96. 「オリエントは遠くなりにはけり」『岩波講座世界歴史 月報』15 岩波書店（のちI-9所収）1998年
97. 「古墳からみた古代豪族－葛城地域の政治勢力の動向を中心として－」『歴博大学院セミナー・考古資料と歴史学』吉川弘文館 1999年（のちI-5所収）
98. 「古墳壁画からみた他界観」『国立歴史民俗博物館研究報告』第80集 1999年（のちI-12所収）
99. 「装飾古墳を読む」大塚初重編『図録古墳研究最前線』新人物往来社 1999年
100. 「箸墓古墳の原形」『東アジアの古代文化』第100号 1999年
101. 「古市古墳群の成立とヤマト王権の変革」『古市古墳群の成立』藤井寺市教育委員会 1999年（のちI-5・I-6所収）
102. 「各地の古墳と被葬者像－千葉県馱ノ塚古墳－」『季刊考古学』第68号 1999年（のちI-10所収）
103. 「卑弥呼の墓と古墳の成立」大庭修編『卑弥呼は大和に眠るか－邪馬台国の実像を追って－』文英堂 1999年（のちI-6所収）
104. 「日本列島における国家形成と伽耶」『第5回伽耶史学術会議予講集』韓国金海市1999年（のちI-11所収）
105. 「古墳出現の時期の歴史的背景」『日本史研究最前線』別冊歴史読本46 新人物往来社 2000年
106. 「終末期横穴式石室の型式編年と暦年代」『考古学雑誌』第85巻第1号 2000年（のちI-12所収）
107. 「もう一つの世界－人びとは墓地をどのように営んだか－」網野善彦編『ものがたり日本列島に生きた人たち』9 岩波書店 2000年
108. 「古代日本の牧と馬の文化」『東アジアの古代文化』第103・104号 2000年（のちI-9所収）
109. 「竜角寺岩屋古墳の造営年代をめぐって」『千葉県史研究』第9号 千葉県史料研究財団 2001年（のちI-9所収）
110. 「古墳からみた葛城氏」『古代を考える』59 古代を考える会 2001年
111. 「昼飯大塚古墳の語るもの」『昼飯大塚古墳の登場とその背景を探る』大垣市教育委員会 2001年（のちI-9所収）
112. 「大いに冢を作ること径百余歩－卑弥呼の墓－」設楽博己編『三国志がみた倭人たち』山川出版社 2001年
113. 「箸墓の被葬者伝承をめぐって」『大和』第103号 大神神社 2002年（のちI-9所収）
114. "Archaeology" An Introductory Bibliography for Japanese Studies Vol X I I, Part 2, Humanities, 1999-2000, The Japan Foundation, 2003.
115. 「周縁から前方後円墳を考える－前方後円墳体制論の再検討－」『前方後円墳築造周縁域における古墳時代社会の多様性』九州前方後円墳研究会 2003年
116. 「下毛野の終末期大型円墳」『栃木県考古学会誌』第24集 栃木県考古学会 2003年
117. 「二つの古代日韓交渉ルート」『熊本古墳研究』創刊号 熊本古墳研究会 2003年（のちI-9所収）
118. 「考古学からみた聖俗二重首長制」『国立歴史民俗博物館研究報告書』第108集 2003年（のちI-11所収）
119. 「畿内との比較からみた関東の終末期大型方墳」『古代近畿の物流と考古学』石野博信先生古稀記念論文集刊行委員会 2003年（のちI-11所収）
120. 「山ノ上古墳と山ノ上碑－古墳の合葬原理をめぐって－」大塚初重・吉村武彦編『古墳時代の日本列島』青木書店 2003年（のちI-11所収）
121. 「大和の郷墓」『歴博』第121号 国立歴史民俗博物館 2003年

122. 「もう一つの倭・韓交易ルート」『国立歴史民俗博物館研究報告』第110集 2004年（のちI-11所収）
123. 「中・近世の大和における墓地景観の変遷とその意味」『国立歴史民俗博物館研究報告』第112集 2004年
124. 「日本列島の文明化をめぐる－弥生時代から古墳時代へ－」『国立歴史民俗博物館研究報告』第119集 2004年（のちI-11所収）
125. 「今来才伎－渡来人集団と倭国の文明化－」『今来才伎－古墳・飛鳥の渡来人－』大阪府立近つ飛鳥博物館特別展図録録 2004年（のちI-9所収）
126. 「古墳の終末と古代寺院の造営」『終末期古墳と初期寺院の造営を考える』ふじいでらカルチャーフォーラム X 藤井寺市教育委員会 2004年（のちI-9所収）
127. “Archaeology” An Introductory Bibliography for Japanese Studies Vol XⅢ, Part 2、Humanities, 2001-2002, The Japan Foundation, 2005.
128. 「磯長谷古墳群の提起する問題－敏達・石姫合葬墓の問題を中心に－」『大阪府立近つ飛鳥博物館館報』9 2005年（のちI-9所収）
129. 「東之宮古墳と東国古代史」『史跡東之宮古墳調査報告書』犬山市教育委員会 2005年（のちI-9所収）
130. 「六世紀前半の倭国における今城塚古墳」『継体大王とその時代』史跡今城塚古墳シンポジウム 高槻市教育委員会 2005年（のちI-9所収）
131. 「《暮らしと生業》総説」『暮らしと生業』列島の古代史 2 岩波書店 2005年
132. 「古墳の埴輪が語るもの」『王権と儀礼－埴輪群像の世界－』大阪府立近つ飛鳥博物館特別展図録 2005年
133. 「宝塚1号墳出現の意味するもの」『宝塚古墳発掘調査成果と展望』第5回松阪はにわシンポジウム 松阪市教育委員会 2005年（のちI-9所収）
134. 「考古学からみた応神以前の王統譜」『國文學』第51巻1号 學燈社 2006年（のちI-9所収）
135. 「須恵器の暦年代」『年代のものさし－陶器の須恵器－』大阪府立近つ飛鳥博物館企画展図録 2006年（のちI-11所収）
136. 「“やまと”と東アジアを結ぶ道」『大阪府立近つ飛鳥博物館館報』10 2006年（のちI-9所収）
137. 「国家工場の成立－首長工場から官営工場へ－」『古代の工場』大阪府立近つ飛鳥博物館特別展図録 2006年
138. 「墓と他界観」『信仰と世界観』列島の古代史 7 岩波書店 2006年（のちI-11所収）
139. 「畿内とその近国」（熊谷公男と共著）『古代史の舞台』列島の古代史 1 岩波書店 2006年
140. 「古市古墳群の成立とヤマト王権」『応神大王の時代』大阪府立近つ飛鳥博物館特別展図録 2006年
141. 「倭国の成立と展開」『古代史の流れ』列島の古代史 8 岩波書店 2006年（のちI-11所収）
142. 「馬と渡来人」『河内湖周辺に定着した渡来人』発掘された日本列島2006地域展図録 大阪府立近つ飛鳥博物館 2006年（のちI-11所収）
143. 「古墳の終末と古代寺院の造営」『終末期古墳と初期寺院の造営を考える』藤井寺市教育委員会 2006年
144. 「国家工場の成立－首長工場から官営工場へ－」『古代の工場』大阪府立近つ飛鳥博物館特別展図録 2006年
145. 「古墳の終末と寺院造営の始まり」『河内古代寺院巡礼』大阪府立近つ飛鳥博物館特別展図録 2007年
146. 「王墓からみた五世紀の倭王の性格」『東アジアの古代文化』131号 2007年5月（のちI-11所収）
147. 「備後の横口式石槨をめぐる」『大阪府立近つ飛鳥博物館館報』11 2007年（のちI-11所収）
148. 「横穴式石室誕生」『横穴式石室誕生－黄泉国の成立－』大阪府立近つ飛鳥博物館特別展図録 2007年（のちI-11所収）
149. 「沖ノ島祭祀とヤマト王権」『古代東アジアの交流と沖ノ島祭祀』“宗像・沖ノ島と関連遺産群”東京シンポジウムレジュメ 福岡県・宗像市・福津市 2007年（のちI-11所収）

150. 「考古学からみた応神以前の王統譜」『國文學－解釈と教材の研究－』平成18年1号 學燈社 2008年（のちI-9）
151. 「近世の大名墓所について－前田家野田山墓所の占める位置－」『野田山・加賀藩主前田家墓所調査報告書』金沢市 2008年（のちI-11所収）
152. 「白鳥の帰るところ－古市古墳群の性格をめぐって－」『巨大古墳の時代をめぐって』藤井寺市教育委員会 2008年（のちI-11所収）
153. 「靱福寺古墳の再検討」奈良県立橿原考古学研究所編『橿原考古学研究所論集』第15 八木書店 2008年（のちI-11所収）
154. 「古代王権における女性の役割」『考古学からみた古代の女性』大阪府立近つ飛鳥博物館特別展図録 2008年（のちI-11所収）
155. 「吉備の大型横穴式石室をめぐる問題－吉備における前方後円墳の終末に関連して－」『古代学研究』第180号（森浩一先生傘寿記念論文集）2008年（のちI-11所収）
156. 「群集墳としての高安千塚古墳群」『やおの歴史遺産高安千塚を語る』高安千塚シンポジウム資料集 八尾市 2008年（のちI-11所収）
157. 「百舌鳥・古市古墳群とヤマト王権」『百舌鳥・古市大古墳群展－巨大古墳の時代－』大阪府立近つ飛鳥博物館特別展図録 2009年（のちI-11所収）
158. 「近世大名墓所と古墳－古代学への提言－」『古代学研究』181号 2009年
159. 「卑弥呼の死と前方後円墳の誕生」『卑弥呼死す 大いに冢をつくる－前方後円墳の成立－』大阪府立近つ飛鳥博物館特別展図録 2009年4月
160. 「五条野丸山古墳の被葬者をめぐって」『大阪府立近つ飛鳥博物館館報』12 2009年